

みずほCustomer Desk Report 2017/01/06 号(As of 2017/01/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	117.12	1.0498	122.92	1.0200	1.2326	0.7289
SYD-NY High	117.43	1.0615	123.09	1.0220	1.2432	0.7356
SYD-NY Low	115.21	1.0481	122.04	1.0087	1.2271	0.7273
NY 5:00 PM	115.35	1.0608	122.38	1.0097	1.2417	0.7339
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.925/13.425	△25RR	1.015	Yen Call Over		

NY DOW	19,899.29	▲ 42.87	債券市場	日本2年債	-0.1970	▲0.7bp
NASDAQ	5,487.94	10.93		日本10年債	0.0600	▲0.5bp
S&P	2,269.00	▲ 1.75		米国2年債	1.1621	▲5.2bp
日経平均	19,520.69	▲ 73.47		米国5年債	1.8434	▲8.7bp
TOPIX	1,555.68	1.20		米国10年債	2.3443	▲9.5bp
シカゴ日経先物	19,480	▲205.00	為替市況	独10年債	0.2430	▲3.3bp
ロンドンFT	7,195.31	5.57		英10年債	1.2920	▲4.3bp
DAX	11,584.94	0.63		豪10年債	2.7410	▲5.1bp
ハンセン指数	22,456.69	322.22		USD/CNH	6.7889	▲ 0.0771
上海総合	3,165.41	6.62		ドルインデックス	101.39	▲1.31
USDJPY 3M Vol	12.65	0.23%	商品市況	CRB指数	193.706	0.73
USDJPY 6M Vol	12.43	0.06%		NY金	1,181.00	15.70
EURJPY 3M Vol	11.66	▲0.14%		WTI	53.80	0.54
EURJPY 6M Vol	13.16	▲0.22%		Dubai Spot	54.01	0.43

東京	東京時間のドル円は117.12レベルでオープン。特段の新規材料ない中、米12月雇用統計を翌日に控えてのポジション調整等からドル売りが強まり、ドル円はストップを巻き込んで116円台半ばまで下落。一旦116円台後半まで戻す局面もあったものの戻りは鈍く、その後は中国短期金利の急上昇を受けて対人民元でのドル売りが強まったことや、米長期金利の低下や日経平均株価の軟調推移等を背景にじり安推移が続き116.08まで下落。引けにかけてやや水準を戻し116.31レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は往って来い、116.31レベルでオープン。アジア時間の米金利低下や日経平均株価の下落を背景に約3週間ぶりの安値となる115.58まで下落。しかし、下落の流れは続かずその後はドルの買い戻しが優勢となり116.54レベルでNYへ渡った。ロンドンドルは下落した。1.2344レベルでオープン。ポジション調整売りから、1.2271まで値を下げた。英12月サービス部門購買担当者景気指数が56.2と17か月ぶりの高水準となったとの発表を受け1.2316レベル上昇するも、その後は小幅推移となり、1.2302レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 丸野)
ニューヨーク	米12月雇用統計の発表を翌日に控えポジション調整が進む中、海外時間のドル円は117.43から115.58の大きなレンジでの値動きとなり、116.54レベルでNYオープン。朝方発表された米12月ADP雇用統計が市場予想を下回ったことや、米長期金利の低下を受けてドル円は115円台後半まで下落。その後発表された米12月ISM非製造業景況指数は予想を上回ったが、構成指数の雇用が低下し明日の雇用統計に対する懸念が強まったことや、米大手銀行がドルショート推奨のレポートを出したとの話もあり、ドル円は続落し一時115.21まで下落。しかし12月FOMC前の水準である115円台前半までは押し目買い意欲もあり下げ止まった。午後に入り、トランプ氏が新たに本邦大手自動車のメキシコでの生産工場の新設計画を批判したこと等から、年末まで前向きに捉えられていたトランプ就任後の政策も貿易や政治経験の無さがマイナスに影響するかもしれないとの見方もあり米株が軟調推移となると、ドル円も上値重く推移し115.35レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0501レベルでNYオープン。米長期金利の低下を受けてユーロドルは上昇し、海外時間高値であった1.0575を上抜けるとストップを巻き込み1.0615まで上昇。しかし1.06円台前半ではユーロ売りも強く、その後はじり安な推移となり1.0608レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:森谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月5日	10:45	中 Caixinサービス業/総合PMI	12月 53.4/53.5	-/-
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	11月 0.3%/0.1%	0.3%/-0.1%
	22:15	米 ADP雇用統計	12月 153K	175K
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 235K	260K
1月6日	0:00	米 ISM非製造業景況指数	12月 57.2	56.8

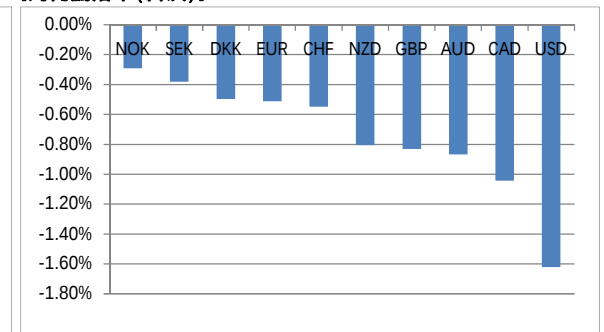
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月6日	8:50	対内・対外証券投資	-	-
	9:30	豪 貿易収支	11月 -A\$550M	-A\$1,541M
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	11月 -0.4%/1.9%	1.1%/2.4%
	22:30	米 貿易収支	11月 -\$45.4B	-\$42.6B
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	12月 175K	178K
	22:30	米 失業率	12月 4.7%	4.6%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	12月 0.3%/2.8%	-0.1%/2.5%
	22:30	米 雇用ネット変化/失業率	12月 -2.5K/6.9%	10.7K/6.8%
1月7日	0:00	米 製造業受注指数	11月 -2.3%	2.7%
	0:00	米 耐久財受注・確報値(前月比)	11月 -4.6%	-4.6%
	0:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報値(前月比)	11月 0.2%	0.5%
	1:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	-
	3:00	米 ラッカー・リッチモンド連銀総裁講演	-	-
	5:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	114.60-116.00	1.0500-1.0650	121.50-123.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は下落する展開となった。ロンドン時間序盤は東京時間の流れを引継ぎ115円台半ばまで下落するも、一旦買い戻され116円台半ばを回復。しかし、米12月ADP雇用統計が市場予想比弱い数字となったこと等から再びドル売りが強まると一時115.21まで下落する展開となった。本日の注目材料は米12月雇用統計。昨日発表された米12月ADP雇用統計は市場予想を下回り、米12月ISM非製造業景況指数でも構成指数の雇用が低下した。本日の米12月雇用統計への下振れ懸念が強まったと考えられ、発表前は大統領選挙後積み上がってきたドルロングポジションを解消する動きが見られやすくなる上、ドル高に不服感が見られる中、米12月雇用統計の結果が市場予想比下振れた場合には一段とドル売りが強まる展開を想定しておきたい。